

2020年2月23日

## 2019年度修士論文発表会における感染症への対応について

電気電子情報通信工学専攻 主任

今年はインフルエンザに加え、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されています。これを受けて本専攻は、来る2月29日（土）に開催を予定する修士論文発表会の規模を縮小し、以下の対応を取ることを決定しました。各自においても予防・感染防止に努めてください。

### [発表形式]

- ・ 発表会は3～4件の発表からなるセッションで構成され、4会場並列で実施する。例年は発表会は公開とし、希望者は自由に出席することができ、特にM1の学生については全員が所属研究室の学生による発表を中心に発表会を見学することとなっていた。今年に限りこれを変更し、発表会会場への入室者はそのセッションの発表者、専攻教員、および運営補助の教育技術員・室員のみとする。他の学生の入室を認めない。
- ・ 会場内では自身の発表のとき以外はマスクを着用することが望ましい。

### [発表前の準備]

- ・ 会場に入室する前に石鹸で手を洗い、入口に設置された消毒液で手指を消毒すること。
- ・ 発表者は配布資料10部を印刷して持参し、セッション開始時間になったら入室して座長を務める教員に渡すこと。
- ・ 発表資料を入れたUSBメモリは前もって除菌ウェットティッシュ等で表面を拭き、清潔にしておくこと。学科PCへのファイルコピーは自身で行うこと。

### [発表終了後]

- ・ 自身の発表が終了したら、教卓上にある除菌ウェットティッシュでマイクを拭くこと。使用したティッシュは退室後にただちにゴミ箱に捨てること。
- ・ 手洗い・うがいをすること。

### [その他注意事項]

- ・ 昼休みは会場を換気する。無人となるため荷物を持って退室すること。
- ・ 体調を崩した場合は保健センターやかかりつけ医に相談し、無理に発表会に出席しようとしないこと。体調不良による欠席の場合は別に発表の機会を設けるので、指導教員に申し出ること。

以上